

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価研修会Ⅱ

## [ 関係者評価研修会 ]

～ 教育・保育要領自己評価コーディネーター養成講座 ～

キャリアアップ研修会（1号関係）<マネジメント>対応研修

### 「教育・保育要領」を幼児教育・保育の柱に

各園の保育実践の質を高めていくために、自園で自己評価を生かしたPDCAサイクルを回していくことに加えて、保護者や他の園の関係者による評価を実施してその結果を広く公表していくことが求められています。また、関係者評価が単なる運営評価にとどまらず、教育・保育の質の向上に繋がるものにするために、公開保育の取組と関係者評価を一体的に実施する取組が期待されています。

そこで、全国認定こども園研修研究機構では、自園での職員研修のみならず、公開保育や他園の施設関係者評価にも関わることのできる「教育・保育要領自己評価コーディネーター」の養成講座を兼ねた研修会を開催いたします。参加者の所属園も「認定こども園施設関係者評価研究実践園」として認定されることにより、保護者や地域に支えられる開かれた園として期待されています。

また、既にこの方法で施設関係者評価を行った施設においては、自治体より「施設関係者評価加算」が適応されている例が報告されています。是非年度当初に自治体に相談して加算申請の相談を行ってください。

この「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を幼児教育・保育の柱とした施設関係者評価の取組が、更に魅力ある園づくりに繋がっていくことを願っています。

2026年

1月26日（月）9:40-17:00（受付9:15~）

赤阪サンスカイルーム 3A

定員：30名（定員に達し次第、受付を終了させていただきます）

受講料：会員 12,000円、一般 17,000円

※全国認定こども園協会の会員園の方は会員価格でご受講いただけます。

お申込み：下記QRコードよりお申込みください。

お問い合わせ：公益社団法人全国認定こども園研修研究機構事務局

TEL：03-6426-5259 FAX：03-6426-5269

e-mail：info@kodomoenkyokai.org

website：<https://kodomoenkikou.jp/>



公益社団法人  
全国認定こども園研修研究機構

## 1. 評価の目的

- 1) 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を理解し、こどもの最善の利益のために評価を行います。
- 2) 現在行っている教育・保育・子育ての支援等を様々な観点から見直す手段とします。
- 3) 次の手立てを考えて、実行することに繋げていくものとなります。
- 4) 評価項目の一つ一つの意味を問い合わせることによって、更なる教育・保育・子育て支援等の質の向上に繋げます。
- 5) 教育・保育・子育ての支援の質の向上のための施設関係者評価や第三者評価としても活用できるように評価方法の質の改善を図っていきます。

## 2. 研修会全体の流れ

本研修会は、まず自己評価研修会Ⅰ〔基礎講座〕参加後の申し込みとなります。自己評価研修会Ⅰでは、こども家庭庁より「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の意義の説明があり、その後第2章から第4章を中心とした評価項目の一つ一つの意味を問い合わせ直しました。その自己評価研修会Ⅰ受講後に各園で自己評価を実践し、園内研修で話し合いを深めていきます。

自己評価研修会Ⅱでは、園内での自己評価の実践を振り返り、フォローアップとして検証していきます。更に世界で取り組まれている評価を研究している方の講義を受けるなど、保育者及び園が更なる教育・保育・子育ての支援等の質の向上をめざしていきます。

### 1年目 自己評価研修会〔質の向上基礎講座〕

- (1) こども家庭庁より要領の意義の説明
- (2) 自己評価のねらいと進め方
- (3) 要領の分析と自己評価実践  
(園の自己評価総括表自動作成)
- (4) 自己評価コーチング

- ◆ キャリアアップ研修（1号関係）の受講証明書発行  
分野：マネジメント（7時間）
- ◆ 認定証（全国認定こども園研修研究機構認定）  
所属園⇒ 教育・保育要領自己評価研修実践園

### 2年目 関係者評価研修会〔教育・保育要領自己評価コーディネーター養成講座〕

- (1) 自己評価の振り返り・実践事例検証
- (2) 日本におけるより質の高い評価を学ぶ講座
- (3) 自己評価を生かした施設関係者評価・保育実践の公開等

- ◆ キャリアアップ研修（1号関係）の受講証明書発行  
分野：マネジメント（8時間）
- ◆ 認定証（全国認定こども園研修研究機構認定）  
受講者 ⇒ 教育・保育要領自己評価コーディネーター  
所属園 ⇒ 認定こども園施設関係者評価研究実践園

## 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価研修会Ⅱ

### 〔関係者評価研修会～教育・保育要領自己評価コーディネーター養成講座〕の概要

受講者が、日本の教育・保育の柱となる「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を理解し、実践に繋げることで、子どもにとっての最善の利益を目指すことを目的とします。

また、園の自己評価総括表を自動作成できるシステムにより、自治体の監査にも対応しており、国が奨励している施設関係者評価として補助制度対象にもなっています。（※自治体に確認が必要です）

#### 1. 研修内容・講師

##### （1）実践事例検証・施設関係者評価実施方法

- 自己評価及び園内研修の実践を通しての好事例や課題検証
- 公開保育の実践（保育実践の公開）の実施方法〔オンデマンド配信〕  
⇒ 全国認定こども園研修研究機構理事及び委員

##### （2）日本における質の高い自己評価研究

- 『保育環境評価スケール』活用法（仮題）  
埋橋 玲子 氏（大阪総合保育大学 特任教授）
- 『幼稚教育におけるプロセスの質に関する研究』（仮題）  
堀越 紀香 氏（国立教育施策研究所幼稚教育研究センター総括研究官）

#### 2. 参加対象者

**令和元年度～7年度開催**「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価研修会Ⅰ（基礎講座）」の受講修了者であり、その研修会に沿った自己評価研修に取り組み「認定こども園教育・保育要領自己評価ワークシート」を作成している園の方

#### 3. 修了証・認定証

- （1）処遇改善加算Ⅱ研修対応 ⇒ マネジメント分野（8時間）『修了証』がダウンロードできます
- （2）園及び地域の教育・保育・子育ての支援の質の向上に努める役割として、保育者に対して、全国認定こども園研修研究機構より認定証を発行します
  - ◆ 修了者 ⇒ 認定証『教育・保育要領自己評価コーディネーター』
  - ◆ 修了者所属園 ⇒ 認定証『認定こども園施設関係者評価研究実践園』

#### 4. テキスト・準備物

- （1）自己評価研修会Ⅰでテキストとして活用した、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」平成30年3月 内閣府・文部科学省・厚生労働省出版（発行所フレーベル館）を引き続き使用いたしますので、持参してください。
- （2）自己評価研修会Ⅰ受講後、自園で実施もしくは研究した園の自己評価結果「認定こども園教育・保育要領自己評価ワークシート」を、グループ協議で話し合う資料として活用しますので、持参してください。

#### 5. 連絡・注意事項

- （1）講座ごとの受講者の入れ替えや、研修中の途中からの受講はできません。また、申込者以外の方の受講はできません。
- （2）講座開始後、10分以上遅刻して参加の場合は未受講と致します。1プログラム未受講があると、認定証及び修了証を渡すことができませんのでお気を付けください。未受講講座がある場合には、次開催以降の受講となります。また、次開催の参加費は未受講科目のみの料金ではなく、全額の受講料となります。

## 6. 当日のスケジュール

**◆ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく評価研修会Ⅱ  
関係者評価研修会〔フォローアップ・ステップアップ講座〕  
(自己評価研修会受講後、園にて研修会に沿った自己評価実践後参加)**

受付 9:15 ~ 9:35 開始 9:40				
	時間(分)	研修項目	研修内容	講師名等
	9:40~9:50 (10)	オープニング (開講行事)	あいさつ	機構代表
1	9:50~10:20 (30)	プログラム I (講義)	自己評価実践の成果 ～自己評価の実践結果より	機構理事 研修研究委員
2	10:20~12:20 (120)	プログラム II (グループ協議)	自己評価フォローアップ 第2章 (グループ内発表、代表発表)  自己評価フォローアップ 第3・4章 (グループ内発表、代表発表)	
諸連絡後 休憩 12:20~13:20 (60)				
3	13:20~14:50 (90)	プログラム III (講義)	質の高い保育の評価① 『幼児教育におけるプロセスの質に関する研究』	堀越 紀香 氏
4	15:05~16:35 (90)	プログラム IV (講義)	質の高い保育の評価② 『保育環境評価スケール』に基づく内容等	埋橋 玲子 氏
5	16:40~17:00 (20)	研修のまとめ	施設関係者評価の紹介、諸連絡	機構理事 研修研究委員

[オンデマンドで配信 (視聴期限 : 2026年2月27日まで) ]

※ 講義を受けた後 ⇒ マナブル上で課題 (学んだこと等) を入力。園長確認後、課題を送信

6	45分	プログラム V (講義)	施設関係者評価と公開保育の意義(保護者評価含む) ～公開保育(保育実践の公開)の準備と実践	機構理事 研修研究委員
7	45分	プログラム VI (講義)	施設関係者評価と公開保育の実施方法 ～公開日の流れ、評価の活用、公表の方法等	
8	40分	プログラム VII (実習)	振り返り(プログラム I ~ VI 学びの記録)	